事業所名	世界ちゃんとモゲル丸先生の元気な仲間たち	**支援プログラム**	作成日	令和7 年	1 月	27 日

法人（事業所）理念	「一人一人にとって、特別な１人１人」			
支援方針	・一人一人の特性やニーズに合った課題や活動を提供し、成長・発達を促す。 ・様々な場面で褒めたり認めたりすることで、成功体験（「できた」「たのしい」という気持ち）を積み重ね、自信に繋げられるように支援する。 ・安心して過ごしたり、相談したりできるような関係を築く。			
営業時間	8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	・健康状態や気分の把握を行う（学校での情報共有・連絡ノート・登所時の検温・会話や様子観察）。また、自分から体温や体調などを伝えられるような支援も行う。 ・身の回りのこと（排泄・食事・着脱・私物の出し入れ・手洗いなど）が自分でできるように、一緒に行ったり促したりする。			
本人支援 運動・感覚	・個別の作業課題に取り組み、微細運動の発達を促す。様々な素材に触れたり、手指の巧緻性を高めたりできるような課題を提供する。 ・音楽に合わせた体操・ダンス、レクリエーション、遊具を使用した活動などで、粗大運動の発達を促す。			
本人支援 認知・行動	・形・色・大きさ・数などの理解を深められるような課題や活動を提供する。 ・場面（気持ち）の切り替えができるように、事前に利用時の流れなどを分かりやすく伝える。なかなか行動できない時には、話を聞いたり具体的にどうするのか教えたりして行動を促す。 ・行動障害に対しては、穏やかに安定して過ごせる方法を一緒に見つけ、個別に支援を行う。			
本人支援 言語コミュニケーション	・自分の気持ち（要求や感情）を伝えられるように支援する。言葉だけではなく、動作・カードなど、一人一人に合った表現方法を提案し、伝える練習を行う。 ・職員と1対1で関わる機会や、集団活動やレクリエーションなどの中で順番に発言する機会を設け、相手の話を聞いたり相手に伝えたりする力の発達を促す。			
本人支援 人間関係社会性	・安心して過ごせる関係を築いたり環境を整えたりする。 ・集団活動やレクリエーションに取り組む中で、日常生活に必要なルールやマナー・身だしなみなどを身に付けられるように支援する。 ・他者と適切な距離で関われるように支援する。故意に近付く・触る・足を出す等、他者が不快に感じる行動や危険な行動について、適切な距離や行動を教えたり注意したりする。			
家族支援	・連絡帳や送迎時に情報交換を行ったり、家庭生活での困りごと等に対して相談援助を行ったりする。 ・毎月のお便りで利用中の様子（写真など）をお知らせする。 ・家族の気持ちに寄り添い不安なく穏やかに生活できるように支援する。	移行支援	・高等部卒業後の進路や実習先等について相談援助を行う。 ・実習先や移行先と、支援方法・支援内容等の共有を行う。 ・外出行事等で、地域との交流が図れるような機会を設ける。 ・将来に向けて、本児や家族の希望を確認しながら、必要な支援内容を検討していく。	
地域支援・地域連携	・学校への送迎時に、情報交換・共有を行う。 ・必要に応じて、関係機関との情報共有・連携を行う。	職員の質の向上	・毎月一回の内部研修や、各種委員会・委員を中心とした勉強会を行い、職員の質の向上に努める。 ・ミーティングや支援会議を行い、支援方法の検討や確認を行う。	
主な行事等	・お誕生日会（随時） ・季節の行事（お花見・七夕・夏祭り・水遊び・ハロウィン・クリスマス会・節分など） ・外出訓練（県庁・市役所・買い物など） ・長期休み中の活動（おやつ作り・お店屋さんごっこ・音楽療法など）			